

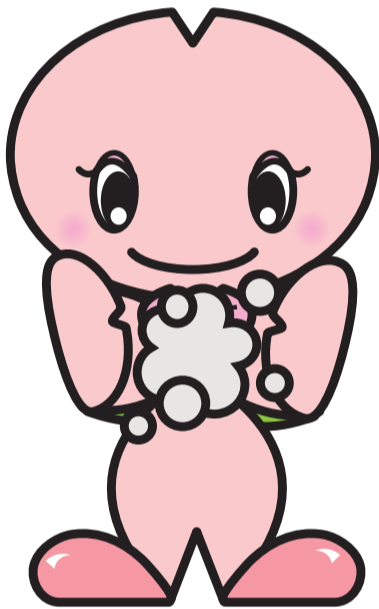
感染症予防のため、こまめな手洗い、咳エチケット、バランス良い食事と睡眠をこころがけましょう。

みなみ5

スマホなどでも紙面をご覧いただけます



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を予防するため、
やむを得ず外出した際には、
手洗いを忘れずにしましょう。

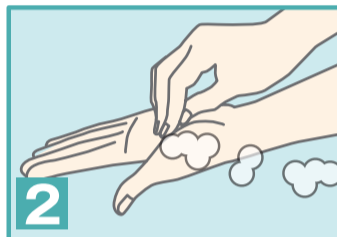
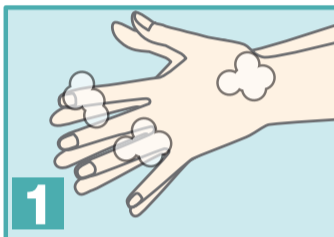


▲南区マスコットキャラクター「みなっち」



感染症予防に有効です!

手洗い方法を
確認しましょう!



石けんを泡立て手のひら、手の甲、指の間、指先をこすり洗いします



指をねじるように洗います。手首も洗います。きれいに洗い流し、拭き取ります。

その他の情報については、1~3ページをご覧ください。

みなみ de 地域貢献

このコーナーでは、南区内でキラリと光る地域貢献を行っている活動を紹介し

大切なおもちゃが壊れてしまった、修理費が高くて直せないまま放置してしまっただけでなく、救いの手を差し伸べてくれるのが「みなみ・おもちゃ病院」。北永田地区の拠点を中心に、子育て支援拠点などで7人のドクターたちがおもちゃを修理します。

みなみ・おもちゃ病院は2004年に開院。定年退職後、子どものためのボランティア活動をしたと考えていた代表の三上峰代さんが、南区にはおもちゃ病院がないことを知り一念発起。約2年間の勉強・研修を重ね、南区初のおもちゃドクターが誕生しました。

活動開始後は、南区社会福祉協議会や子育て支援拠点でチラシを配布するほか、子育て拠点の開所にあわせておもちゃ病院も順次開院。口コミでどんどん依頼件数が増え、今では1年間で約580件、87%の治癒率を誇ります。壊れやすいのは電池部分やモーター、スピーカーなど。最近のおもちゃは使い捨てを前提に作られていたり、特殊な部品を使っていることで直せないものも多いそう。「おもちゃ選びにもコツがあります。気軽に相談してください」と三上さん。

壊れたおもちゃ、真心こめて直します ～みなみ・おもちゃ病院～

核家族化が進み、子どもとお年寄りが世代を越えて交流する機会も減っていると感じていたため、活動のコンセプトは“対面修理”。「じいじの気分で親子と触れ合っています。大好きなおもちゃが目の前で直るところを見ることで、ものを大事にする心が育ってほしいですね」。

子どもだけではなく、年配の方から古くて思い入れのあるおもちゃの修理依頼を受けることもあるそう。「昔ながらのプリキのおもちゃや、古くてもシンプルなおもちゃはほとんど直せますよ。大切なものだからこそ、あきらめずに一度持ってきてください」と語ってくれました。

修理を依頼したい場合はお問い合わせください!

☎ みなみ・おもちゃ病院 ☎ 731-9617

※修理は無料ですが、部品が必要になる場合は実費負担があります。(事前相談)



☎ 広報相談係 ☎ 341-1112 ☎ 341-1241

【南区役所】

〒232-0024 浦舟町2-33
☎ 341-1212(代表)

受付時間:8時45分~17時 月~金曜日(休日、祝日、年末年始を除く)

※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合がありますので、詳しくは職員にお尋ねください

第2・4土曜日(9時~12時開庁)は、戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課で一部業務を行っています

南区のいま (2020年4月1日現在) 🗳️ 区の人口 >>> 195,947人 🏠 世帯数 >>> 100,677世帯

編集・発行 南区役所広報相談係 ☎ 341-1112 ☎ 341-1241 ✉️ mn-kouhou@city.yokohama.jp

人口の詳細は
右記へ

